



Y. S 英語英文学科 3年次

参加期間： 2017年2月10日～ 3月12日（4週間）

受入校： FCJ College Benalla, St. Joseph's Benalla School (Benalla)

I. 教育実習について

メルボルンから車で3時間くらいのベナラという小さな田舎町に行きました。キリスト教の小学校、中学校・高校で prep-grade9(grade8を除く)の子ども達のクラスを担当しました。担当した生徒数は370人くらいでした。

prep-grade6の子ども達は週1回、grade7は週3回、grade9は週5回日本語クラスがありました。prep-grade6までの合計15クラスは1クラス16～25人くらいで他言語に触れよう、興味関心を伸ばそうという感じでした。grade7、8はそれぞれセメスター毎で日本語とフランス語を学び grade9 で日本語かフランス語または選択しなくても良いという風になっていました。私が行った時は grade7、16人3クラス、(grade8は次の学期に日本語授業がある)、grade9は12人でした。最初は物珍しそうに見られ私もとても緊張していたこともあって上手く子ども達と接することが出来るかなと不安だったのですがそんな悩みはすぐ無くなりました。好奇心旺盛で日本語授業に意欲的に取り組んでいる子が多かったです。

prep-grade2では先生が作った歌やゲームを通して数字、色、挨拶をもうちゃんと理解していました。授業では折り紙をしたり、日本語で「名刺」を作ったりしました。grade3-grade7では「好き・好きじゃない」という言葉を基本にして文章を作ったり音読をしたり、子ども達は意味を理解して日本語を見ても聞いてもとても良く出来ていました。他にも漢字の読み書きをしたり、short movieを見て日本語を勉強したりしました。休み時間には折り紙をしたりバスケットをしたりもしました。grade9は自分たちで選択しているだけあって吸収も早く簡単な会話や先生や私が言ったことも理解できているようでした。テスト問題も作らせてもらったのですがほとんどの子が良く出来ていて少し圧倒されたのを覚えています。

どの学年の子どもともフレンドリーでたくさん話しかけてくれました。私や日本語の授業に興味を示してくれているのが伝わるので応えてあげたいと強く思いました。host teacher もすごく良い方で協力して授業の教材を作ったり、オーストラリアや学校について色々なことを教えてくれたりしました。素敵な子ども達と先生に出会えたと思います。

II. ホストファミリーについて

7歳男女の双子がいる4人家族でした。motherがその中学校・高校の教師だったのでいろいろと過ごしやすかったです。father grandma grandpaは最初全く聞き取れなかったです。年を取っている方は聞き取りにくいことが多かった気がします。

平日は子ども達の習い事についていきました。バスケやスイミング、新体操を習っていました。スポーツ家族と言っていてオーストラリア特有のクリケットやネットボール、フットボールなども見に行く機会がありました。週末は本当にいろんな体験をさせてくれました。動物園、牛の乳



しぼり、サーカス、親戚の誕生日会に連れてってくれたり walk イベントに出たり、host teacher にも映画に連れてってもらったり家に招待もしてくれました。

私のことを自分たちの子どものように扱うと言ってきてそれを私も感じていたので毎日楽しかったです。mother father の子ども達への愛情や親戚間の繋がりや強さをとても強く感じました。素敵な家族に出会えたと思っています。

Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

出会えた全ての人に感謝しかありません。行ってよかったと本当に思います。一か月の間帰りたくないと思うほど分かりません。日本とオーストラリアの学校の違い、生活の違い、家族間の関係や人々の関係性、新鮮なものが多くて毎日が新しい体験でした。嬉しい、楽しいことがたくさんでしたが英語で上手く伝えられなかったり、失敗をして悔しい思いもしました。全て含めて素晴らしい体験です。行くか行かないかで迷っているなら是非行くべきだと思います。





N. S 英語英文学科 2年次

参加期間： 2017年2月11日～3月12日（4週間）

受入校： St. Ita's Primary School (Drouin)

I. 教育実習について

私は4週間のプログラムで小学校での実習をさせていただきました。この4週間はあっという間で、本当に参加してよかったと思います。

小学校は1年生から6年生の全クラスの授業を担当させていただきました。授業内容は、挨拶から簡単な単語を1週間に5つずつジェスチャーとともに覚えます。それを担当の先生と一緒に教えていきます。そしてその週に学ぶ単語を中心にゲームなども加えて進めていきました。そして、授業内で季節や授業内容に対する日本文化を担当の先生と私とで子供たちに考えさせながら知識も教えていくこともしました。

今回、私は授業がない日にクラスにお邪魔させてもらい、特別授業として日本から持って行った浴衣や鍵盤ハーモニカの紹介や新聞紙で折り紙を教えました。小学校では1年生の下に Foundation という日本でいう幼稚園の年長さんのクラスに相当するクラスがあります。Foundation のクラスは日本語の授業はありませんでしたが、特別授業はさせていただきました。みんなの反応がとても良くて、普通の授業も、特別授業もやっていますごく楽しかったです。

II. ホストファミリーについて

私のホストファミリーはとても優しく、とても居心地の良い家族でした。いろんな場所に連れて行ってくれたり、ウォーターアクティビティーやバーベキューをしたり、盛りだくさんでした。一番下のホストシスターは私がお世話になる小学校に通っているので、朝はホストマザーが車で送ってくれて、帰りは迎えに来てくれることもあれば、ホストシスターと歩いて帰ったりしました。なんの不自由もなく充実した4週間を送ることができました。人と人との関わりをとても大切にしている、わたしにもたくさんの方々を紹介してくれて、私自身もたくさんの人と出会うことができ本当にかけがえのない家族や人と知り合うことができ幸せでした。

III. 参加希望者へのアドバイス

行く学校が小学校でも中学高校でも、日本では経験のできない貴重な時間を過ごすことができると思います。とにかく、誘われたら何事もやってみることが大切なことだと思います。英語が苦手でも子供たちはわかってくれますし、先生もたくさんヘルプをしてくれるので心配することはないと思います。子供たちに喜んでもらいたい、伝えたいという思いが一番大切なことなので、自分が何を一番伝えたいかを考えてから行くといいと思います。日本独自のものは子供たちにとって異次元のものなので、反応がとても面白いです。迷っているなら、ぜひ、参加してみてください。



N.1 英語英文学科 2年次

参加期間： 2017年2月10日～3月12日（4週間）

受入校： Parkdale Secondly College（Melbourne）

I. 教育実習について

実習先では、Year7からYear12までのクラスを担当しました。Year7からYear10は15~20人ほど、Year11とYear12は10人ほどのクラスで生徒との距離は縮めやすかったです。1週目は、授業を見学しているだけだったのですが、2週目からは日本の文化を教えたり、ひらがなを教えたりしました。私は大学でよさこいのサークルに入っているため、日本の文化としてよさこいを教えて、生徒に法被を着て簡単な踊りを踊ってもらおうと、生徒はすごく気に入ってくれました。

授業の他に、Year12の生徒と会話のレッスンをしました。生徒の空きコマや放課後に1時間ほど時間をとって、教科書のトピックに沿って質問をし、それに答える練習をしました。レベルは生徒によって様々で、筆記のテストの点数は良いのに、会話のレッスンだとなかなかしゃべれない生徒もいました。しかし、ほとんどの生徒は一生懸命練習していたので、会話のレッスンは楽しかったです。

放課後には先生方のミーティングに参加したりしました。授業の改善方法や、受験に向けた対策などを科目の先生ごとに集まって話していました。私はほとんど発言することはなかったのですが、勉強になりました。最終日には先生方からプレゼントもいただいて、この学校に来ることができて本当に良かったと思いました。

II. ホストファミリーについて

私が担当していたYear12の生徒の家に滞在していたため、毎朝一緒に学校へ行っていました。家にいる時も、私にはできるだけ日本語で話すようにする勉強熱心な生徒でした。ホストマザーは学校が早く終わった日や休日には、海や動物園やジャズのコンサートやショッピングなどいろいろな場所に連れて行ってくれました。お土産屋さんに行ったときにも、私のためにお土産を買ってくれる素敵な人でした。いつも家族みんな揃って晩御飯を食べる温かい家族で、滞在している間はすごく楽しかったです。

III. 参加希望者へのアドバイス

私はこのプログラムに参加して本当に良かったと思います。私は日本語教師を卒業後の選択肢のひとつとして考えているのでこのプログラムに参加したのですが、この経験は今後必ず役に立つと思っています。このプログラムがきっかけで、勉強に対するモチベーションが上がったので、このまま卒業まで頑張りたいと思います。